

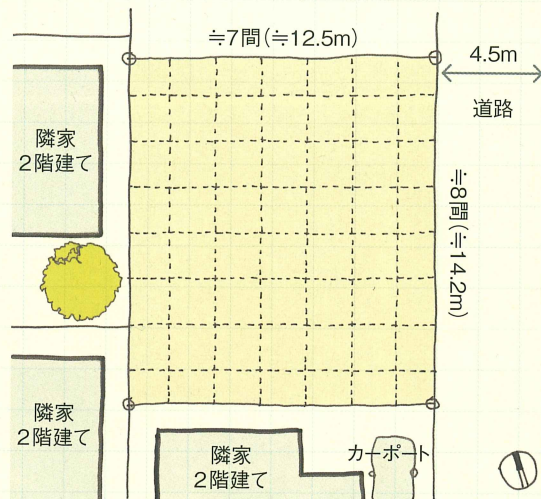
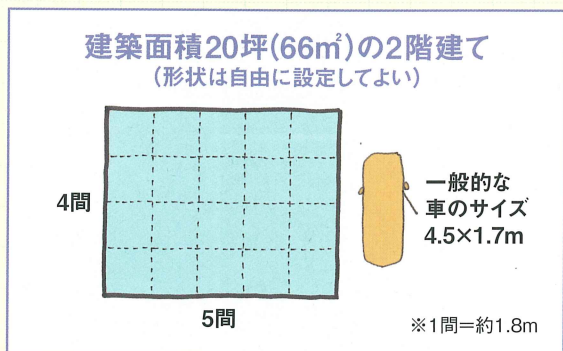
監修: はせがわ じゅんじ 長谷川順持

長谷川建築デザインオフィス代表。  
“生き生き住宅創り”をモットーに、  
住み手の想いを楽しいアイデアで実  
現。近刊『とっておき住宅デザイン  
図鑑』が大好評発売中。必読！  
<http://www.interactive-concept.co.jp>



## 問題

提示された敷地に  
指定の住宅と車の  
望ましい配置を  
描き入れなさい。

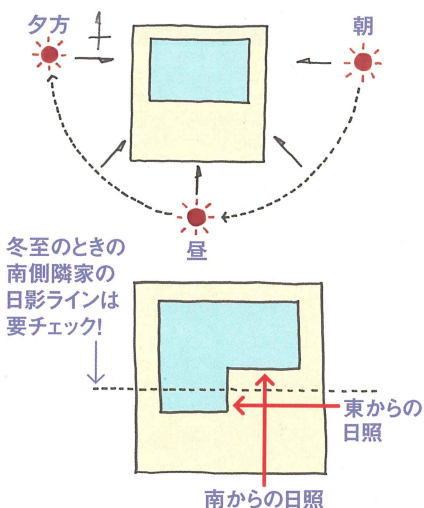


広さはおよそ56坪(約185㎡)  
東側道路の敷地

## 考察 配置計画で考慮が必要なことは？

### ▶ 日照計画

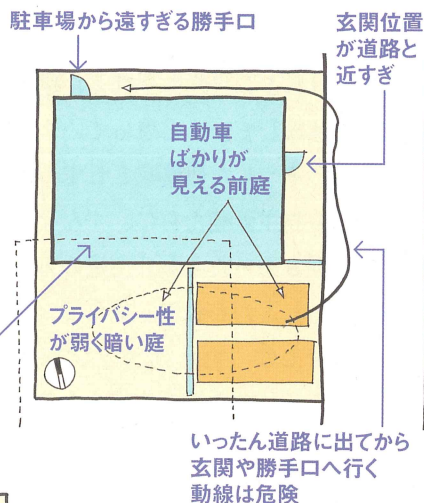
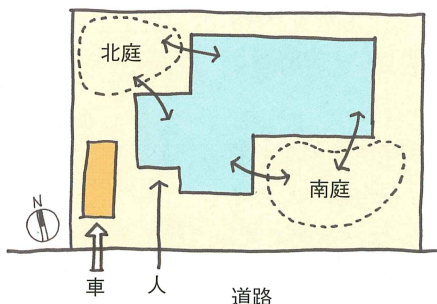
日照計画の基本は、建物を敷地の北側に寄せて配置することです。その際、南側建物の日影がどう影響するかを調査しましょう。そして状況に応じ、できるだけたくさんの日照面を得るように工夫します。



### ▶ 駐車場との望ましくない関係

敷地に建物を単純に据えて、その空きスペースに駐車場を置くありがちなパターンは、部屋から車ばかりを眺めることになってしまいます。車から勝手口への動線の確保、玄関と道路の距離なども、細やかに考えましょう。

南側建物の日影の調査が甘く日照が損なわれている



### ▶ 庭のつくり方

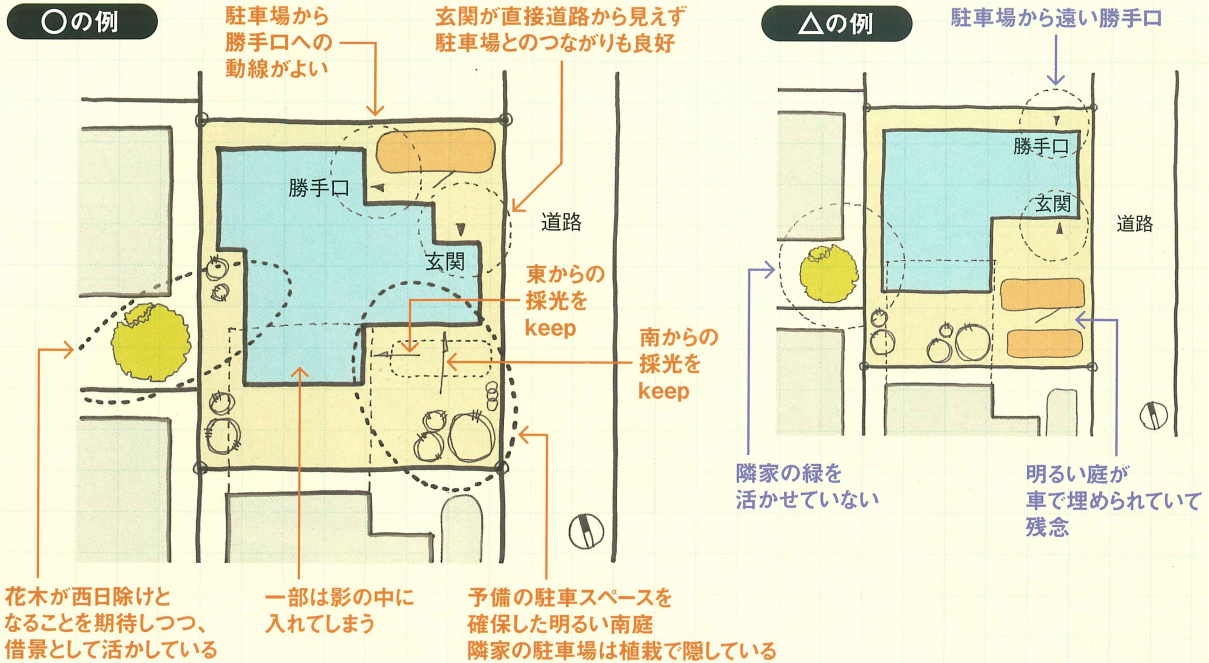
庭をどうするかは、快適さに関わる大切な問題です。日の当たらない北側の庭でも、玄関や浴室と組み合わせれば、居心地よさのアップに貢献してくれます。

模範  
解答例

要素のバランスポイントを探りましょう

○の例は、南と東から計画的に日照を得て、南側建物の影にもよく呼応できています。最も評価できるのはカーポートの位置で、玄関・勝手口との関係性がすこぶる

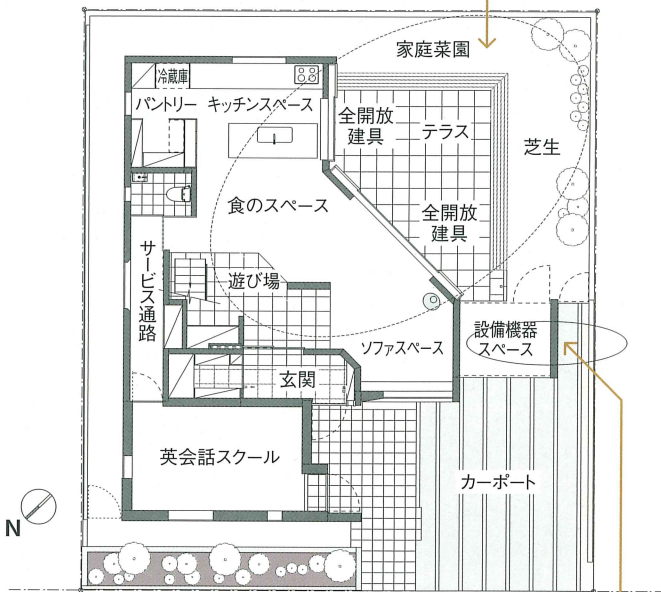
良くなっています。△の例は、南側隣家の影に一部を深く入れ、他での日射を得た良策。ただし、玄関の南面配置により居室への日当たりが得られない点が残念です。



応用編 これまで解説したことが実現できている実例をご紹介します

1階平面図

斜め45度の面で採光面積を豊かに内と外が連続し素晴らしい開放感



交通量の多い道路

屋外設備スペースを活用して庭を道行く人の視線から守る

南北の方位に対して斜め45度に振れている敷地です。C邸では、できるだけ豊かな日照を得るために、南隅を斜めに切り取った平面形とし、日当たりの良いテラスと庭を確保。駐車場と南庭との間を設備スペースで区切ること、庭のプライバシーが高まり、リビングを庭に大胆に開放できました。また、玄関が直接道路に接しないよう、少し凹ませて距離をとり、さらに手前に袖壁を設けることで落ち着きを与えています。



神奈川県・C邸 設計・写真=長谷川建築デザインオフィス